

第1回思いきり遊ぶ親子交流施設基本構想検討市民会議 会議録

開催日時	令和8年6月6日(土)午後2時45分～午後3時40分
開催場所	鼎公民館3階学習展示室
出席委員 (敬称略)	中山勇魚、佐々木宏幸、秋廣まどか、池田章子、市岡睦月、伊東正晴、熊谷太三郎、氣賀沢公彦、小林孝至、小松勝彦、坂井公淳、坂井俊輔、澤柳紀子、塩澤章男、塩澤哲夫、杉山美歩、諏訪結芽子、竹村朋香、竹村信之、多田政司、田中秀彦、外松秀康、中本知沙、野口心暖、樋口昭三、壬生江美、矢澤日和
欠席委員 (敬称略)	小笠原このみ、北村崇綱、黒河内智子、桑原利彦、吉本富美子
出席職員	飯田市長 佐藤 健、こども未来健康部長 山崎由紀恵、こども課長 筒井孝治、子育て支援係長 植松一成 子育て支援係 宮嶋奈保子、宮澤奈津子、大原悠貴、岩間ひろみ
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 学識委員紹介 4 市民会議の役割・スケジュール等について 資料1：市民会議の役割・スケジュール等 資料2：親子連れで遊べる施設の整備に関するアンケート結果 資料3：みんなで子育てナビ2025（参考） 5 自己紹介 6 事務連絡 7 閉会

1 開会

○部長 皆様、大変お待たせいたしました。ただいまより、第1回思いきり遊ぶ親子交流施設基本構想検討市民会議を開催いたします。市民会議の司会進行を務めさせていただきます、飯田市こども未来健康部長の山崎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日、受付にてお渡しいたしましたファイルに、会議資料とともに「委嘱状」をお配りしております。これをもって委嘱状の交付に代えさせていただきますので、ご確認をお願いいたします。任期は6月1日から基本構想が策定される間でございますが、今年度中の策定を予定しておりますので、お力添えをよろしくお願いいたします。はじめに、飯田市長より皆様にご挨拶を申し上げます。佐藤市長、よろしくお願いいたします。

2 あいさつ

○市長 改めまして、皆さんこんにちは。

今日からですね、思いきり遊ぶ親子交流施設の基本構想検討市民会議というのがスタートいたします。この度は皆さんに市民会議の委員をお受けいただきまして、本当にありがとうございました。これから1年かけてどんな遊び場を作るか、そういうことになるわけですが、先ほどの講演会の挨拶でも少し申し上げましたけれども、あるいは中山先生のお話の中でもおっしゃっていただいて、まず、何を作るかというのは最後のところで形を作っていかなければいけないことになるんですけども、その前にどんな空間機能といいますか、どういう場所を作りたいのかという、そういう思いを皆さんとだんだん揃えていったり固めていきたいなというふうに思っています。

私がどんな場所にしたいかというのを一言で言うと、遊びの殿堂みたいな感じ。何て言うんですかね。あそこに行けば遊びが学べるといいますか、あそこに行くと言遊び方がわかるみたいなことだったり、本当に子どもたちがあそこに行くと生き生き遊べるようになるよという、そんな場所になったらいいなと思ったりもしています。

ただそれはこれから皆さんと一緒にどんな空間にするのかというのを作っていくわけなので、先ほどの中山先生のお話を一つのきっかけにしてですね、皆さんと一緒にそういう思いをまとめていければと思っております。これから1年間お世話になりますけど、どうぞよろしくお願いいたします。

3 学識委員紹介

○部長 ありがとうございます。続きまして、本市民会議に専門的な見地からご参画いただきますお二人の学識委員をご紹介します。

それではお一人ずつ一言ご挨拶をいただきたいと思います。

○学識委員 皆さん、先ほどはありがとうございました。

まず、すごい素晴らしいなと思ったのは、多種多様な方々が参加されていて、若者の方からベテランの方まで、いろんな方が参加される素晴らしい会議だなというふうに思いました。割と私もいろんな委員会などをさせていただくんですけど、結構似たような方に偏りがちな場所が多いんですけども、まさに市民会議という名の通り、皆さんが参加されていて素晴らしいなというふうに思っていますし、私自身もすごく楽しみだなというふうに思っています。

実際どういう場所を作っていくかというのは、いろんなご意見があると思いますし、一つの正しい答えがあるわけではないので非常に難しいところもあるとは思うんですけども、何より皆さん自身がわくわくしながら「こんな場所ができたらいいな」とか「飯田市にこういう場所があったらいいよね」というような、あれ駄目、これ駄目と言っているとだんだんみんなしゅんとしてしまうと思いますので、そういう楽しい議論ができたらいいなと思っています。よろしくお願いいたします。

○部長 ありがとうございました。

続いてお願いいたします。

○学識委員 はい、皆さんこんにちは。専門は都市デザインという分野をやっております。

飯田市とは2016年から中心市街地・丘の上を中心として、いろいろなまちづくり、地域づくりの活動に協力をさせていただいていまして、こういったタイプの委員会ですと新文化会館の検討委員会の学識委員というのも務めさせていただきました。また最近では、橋北地区の空き家の改修ですとか、りんご並木の整備の検討、それから飯田市の将来像の提案作成といったようなことに関わらせていただいております。新文化会館の委員会を通して感じたことは、飯田市さんの委員会は、実に参加をするのが楽しくて、本当にいろんなお立場の方が非常に前向きに意見を出してくださって、本当にお世辞ではなくて、こういう立場で参加をさせていただいて非常に学びも多いですし、楽しませていただきました。

今日、中山さんのお話を伺っていて、もうすごく共感する部分が多かったんですけども、もはや遊びとか、こどものための話ではなくて、何か生き方そのものに対する話だなというふうに思って聞いていました。

私自身の問題としては、いかに仕事を遊ぶのかという捉え方で生きていかなければいけないと思いましたし、そんなふうに見てみると、私の研究室のキャッチフレーズは「都市に働きかける研究」なんですけども、“Have fun with the city!”、都市を楽しむというキャッチフレーズを研究室に掲げているんですね。都市が好きで都市を楽しめないんだったら、そのことを学ぶことはできないみたいなことを言っていました。

今日の中山さんのお話を、しっかりと理論立てて考えていたわけではないんですけれども、今まで遊びという視点でなかなか物事を考えてこなかった中で、遊びという視点から考えたときに本当にいろんなものがクリアに見えてくるような感覚を味わえまして、一回目の講演にして早くも非常に大きな学びを得られたというふうに思っております。

今後、この委員会にも参加をさせていただく中で、また皆さんのいろんなお考えをお伺いする中で、私自身もいろんな気づきがあって、また私の専門分野からいろんな視点というのを投げかけられればいいのかというふうに思っています。

一つだけ次回のお話の予告編的なことを言うと、私は場所作りではなくて、状況作りだというふうな捉え方をしています。空間が主導するのではなくて、その空間が手助けをしながら、そこにどんな状況が生まれていくのかということを考える。そのために空間の専門家は、その空間をどういうふうに提案すればいいかということを考えていると思いますので、この場では皆さんからぜひ、その場所を超えた状況、どんなこどものための状況を作りたいのかというような視点でいろんなお話がお伺いできると、私自身もいろいろと参考になるなというふうに思っております。次回以降もよろしくお願いいたします。

○部長 はい、ありがとうございます。お二人の先生、よろしくお願いいたします。なお、本日の会議ですが、学識委員の先生の移動等も考慮いたしまして、15時50分には終了をしたいと思いますので、会議のスムーズな進行にご協力をお願いいたします。

4 市民会議の役割・スケジュール等について

○部長 続きまして、市民会議の役割・スケジュール等につきまして、配布資料に基づきましてご説明をさせていただきます。説明はこども課長より行いますので、お願いいたします。

○課長 改めまして、飯田市こども課長の筒井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて説明をさせていただきます。

それでは、お配りした資料についてご説明いたします。まず、資料1をご覧ください。本日は、まず委員の役割、お願いしたいことを記しています。「こうしたい」「こうあったらよいのではないか」など、皆さんが感じていることや思いを発言いただき、あわせて他の方の意見に耳を傾けながら、思いきり遊ぶ親子交流施設の基本構想を検討いただきます。学識委員として中山先生・佐々木先生の支援、ご助言をいただきながら進めてまいります。

次に、基本構想とは何かですが、施設の基礎となるものです。記載のとおり、どんな場所にしたいか、誰を主な対象とするのか、そこで何ができるのか、どのように運営していくのか、施設の規模や周辺環境などのあり方などを整理していきます。具体的な項目につ

きましては、次回の会議でお示ししたいと思っています。

右側のスケジュールですが、本日を皮切りに、本日も含めて5回の会議を予定しています。2回目の会議は、佐々木先生から先ほどもお話がありましたとおり、講演等をお願いし、また意見交換等を予定しています。3回目以降の予定につきましては、おおむねの目安を示してありますけれども、なるべく早く調整し、お知らせできるようにしてまいります。

続いて、資料2をご覧ください。雨天や猛暑でも親子連れで遊べる施設について、かねてより市民の皆さんから強い要望が寄せられています。昨年5月にアンケートを実施しました。2,300件ものご回答をいただき、非常に関心が高いことだと改めて認識しております。回答いただいた方の属性は、1ページのとおりです。

2ページには、あまり出かけない理由などを尋ねていますが、「連れて行きたいところが近くにない」という回答が多数でした。あったら良いと思う施設については、「こどもが体を動かすことができる」「体験ができる」「親子で体を動かすことができる」「飲食ができる」が上位を占めています。参考資料として本日お配りしています。

最後にもう一つ、「みんなで子育てナビ」という冊子をお配りしました。この冊子は飯田市が発行している冊子で、母子健康手帳の交付時や飯田市に転入された際に該当する方へ配布しています。妊娠・出産時からこどもの成長に合わせた支援制度などの紹介、利用できる施設・公園等の情報を整理した冊子です。今日は時間に限りがありますので、改めてご覧いただけたらと思います。

簡単ではありますが、私からの資料の説明は以上です。よろしく願いいたします。

○部長 ただいまの説明について、ご質問はございますでしょうか。

よろしいですか。

5 自己紹介

○部長 それではこれより、委員の皆様の自己紹介の時間へと移らせていただきます。本日は、委員の皆様お一人お一人から、全体に向けて一言ずつお話を伺いたと思います。お手数ですが、お名前と、先ほど中山先生のご講演を聞いた感想、またこれからの施設を検討するにあたって、ご自身が大切にしていきたいことや思いをぜひお聞かせいただければと思います。時間の都合上、お一人1分程度を目安にお願いをしたいと思います。それでは右回りをお願いをしたいと思います。

○委員 皆さんこんにちは。高校生です。

先ほど中山先生のお話をお聞きして、自分もいろいろと共感できるところがたくさんあって、感想をまとめようと言われてもなかなか難しいところだったんですけど、とにかく自

分は、何かのための遊びにならないように、遊びによって何を得るかというのを、この施設作りの中ではその因果関係を逆にしてしまわないように作っていきたいと思います。最初の挨拶が、まさか自分が本当に最初になると思っていなかったんですが、タイミングがあったんですけど、ちょっと今緊張するところではあるんですが、まだ一高校生でありますし、未熟なところもあるかと思うんですけども、だからこそ、まだ18歳ですけども、だからこそ出せる率直な意見というものを、育ててくれたリーダーのために、この5回の会議の中で出していただければいいかなと思いますので、ぜひ皆さんよろしくお願いします。

○委員 飯田市の校長会の代表ということで、鼎小学校から参りました。

先ほどのお話をお聞きしたところで、今年から飯田市の全ての小・中学校で「みらい創造科」という取り組みが始まっていまして、広報等でご覧になった方もいらっしゃると思いますが、やっぱりこどものわくわく・ドキドキ、やってみたいからスタートする、こどもが自分から探求する学びを目指そうという取り組みを各学校で始めているところなんですけど、まさに先ほどのお話の遊びの捉え方というか、仕事に繋がる場所だらけだなと思って聞かせていただきました。

私は特別支援学校に勤めた経験もありますので、今度のこの施設の検討の際には、バリアフリーやインクルーシブという視点も入れながら進めていけるといいのかなというふうに感じているところです。よろしくお願いします。

○委員 こんにちは。

名簿には新文化会館の整備検討委員会と書いてありますが、佐々木先生からもいろいろ教えていただいてアイデアをいただいて、基本構想というところに関わってきました。私が今思っていることは、遊び、誰がどうやって、こどもさんの目線で考えるというのは、めちゃくちゃ難しいことだと思うんですけど、でも、その目線を外さないように考えていきたいなというふうに思っています。よろしくお願いします。

○委員 こんにちは。飯田市山本の児童センターの館長をやっております。館長会の席で、出席責任ということで決まりましたのでよろしくお願いいたします。

今思っていることはですね、先ほどお話しされた中で、児童の遊びを見ているけれど、やはり児童の遊びを考えていく必要があるなと思っていまして、ただ、児童館でちょっとこれを言うといけないかもしれませんが、体育館も人数もせまいところで、いろいろとやっている遊びがほぼ決まってしまうので、そういう遊びをもっと考えて、いろんなことを経験させていくことがいいんじゃないかなと思っております。山本地区には公園なんかもありますけれども、遊ぶものがなくて、山本地区の人も飯田の方まで出てきて、こどもを連れて遊びをしているとかいろいろありますので、遊びの場所、遊び方、いろんなことを考える必要があるかなと思っております。以上です。よろしくお願いいたします。

します。

○委員 こんにちは。橋南まちづくり委員会の副会長を務めています。よろしくお願いいたします。

昨年、佐藤市長が来ていただいた懇談会で、今、動物園に人がたくさん来ていて、佐々木先生に関わっていただいたりんご並木をどうしようかという話を橋南地区ではしているんですが、いわゆる町の拠点として、公民館などがなくなって、プールもあったんですがなくなってしまって、そこに一つの核がなくなってしまったので、できればそこに核を作って、動物園とそこを結んでりんご並木ということをぜひやりたいんだという話を、去年の懇談会でさせていただいたその方向になってきました。

いわゆる子どもが遊ぶという視点だけではなくて、まちの活性化ということもちょっとこの中で、ぜひできるような方向が出てくれば嬉しいなと思っております。個人的には保育園の経営に関わっておりますので、またそんな観点でもご発言ができればなと思っております。よろしくお願いいたします。

○委員 東野まちづくり委員会の副会長です。

丘の上はですね、人口が急激に減ってしまして高齢化もありまして、お子さんも非常に少なくて心配しています。佐々木先生がおっしゃったように、町をどうするかということで、先ほど教員の方もおっしゃっていましたが、大宮諏訪神社から動物園まで桜並木の整備というのを10年前に提案しました。これが繋がると、飯田のいい顔になるんじゃないかなと思います。それをぜひ実現していただきたいのと、お子さんがもう少し集まるような、そうすると魅力的なまちになって、必ず移住してくる人が増えるんじゃないかなと思います。実際に宮の上では、二、三年で30件くらいありますかね、アパートや移住区から出てきました。そうすると若い世代のお子さんも増えますし、そういう意味でもこれはできるかなと思って期待しております。お願いいたします。

○委員 橋北まちづくり委員会から来ております。

たまたま橋南・東野の地元のまちづくりをされた方に続いて、私は旧飯田公民館のそば、中央公園のそばにずっと住んでいましたので、何かお役に立てればと思っております。ただし、年齢が上であります。よろしくお願いいたします。

○委員 飯田コアカレッジから来ております。子どもたちのためにプログラム体験というのを毎月開催しておりまして、その関係で今日出席させていただいております。

先生のお話を聞きながら、半世紀前の自分のこどもの頃を考えていたんですが、そこに大人の関与はなかったですね。でも子どもたちだけで遊び場を作って遊んでいました。秘密基地もたくさんあったし、そこに行けば廃品回収からかき集めてきた漫画本とかが

並んでいるだとか、そういうような時代だったので、今は時代が違いますから、やっぱり大人たちがある程度段取りしないといけないかもしれませんけれども、あまり大人の匂いがしないような遊び場だと、こどもたちも来やすいんじゃないかなというのを話しながら感じていました。よろしくお願いします。

○委員 飯田風越高校に通っている高校生です。

先生の講演の中で、遊びというのは「自ら選び、自ら試すこと」とお伺いして、自分の中では遊びというのはやっぱり鬼ごっことかかけっこ、そういったものを結構遊びと聞いたら思ってしまうがちだったので、今回の講演ですごく新しい視点を見ることができて、非常にいい機会をいただけたなというふうに思っております。

市民会議に参加する中で、遊びというのはこどもだけのものではないですけども、遊びの中心である若者ならではの視点を大切に、会議に参加できたらいいなというふうに思っております。よろしくお願いします。

○委員 同じく風越高校に通っている高校生です。

先ほどの講演をお聞きして、「遊びが大切だと思いますか」という最初の問いに、もちろん漠然と大切だなとは思っていたんですけど、自主性を育むとかいう話をお聞きして、なるほどなあと腑に落ちました。ただ、その遊びを通して得ることができる、育むことができる能力を視野に入れながらこの会議に臨んでしまうと、こどもにとっての遊びという像がちょっと崩れてきてしまうかもしれないので、なかなか難しい案配だなと感じましたので、こども心を忘れないように、こちらの会議では臨ませていただきたいです。よろしくお願いします。

○委員 飯田女子高等学校に通っています。

講演を聞いて、遊びってこんなにも深くて、成長にとっても繋がるんだなと思いました。自分も将来、保育士やこどもに携わる仕事をしたいので、とても学びになりました。

そして大切にしたいことは、やっぱりこどもや保護者の方が楽しめるように、私たちも楽しまないと駄目だなと思ったので、楽しんで会議に参加したいと思いました。よろしくお願いします。

○委員 飯田女子高等学校に通っています。

元々遊びは大事だと思っていたけど、深くまで考えたことがなかったので、こども自身のやりたいという気持ちとかを大人とは違う目線で考えていきたいです。よろしくお願いします。

○委員 皆さんこんにちは。私自身こちらに移住してきていまして、5歳の男の子の母です。

先ほど先生のお話をお伺いする中で、カフェを設けていただいているということをお伺いして、ドイツではビールが飲めるというお話を楽しく聞かせていただきました。そんなふうに、こどもを連れて行くのは親なので、親も楽しく、いろんな方とお話ししつつ、相談もできるような、そんな施設になったら素敵だなと思っております。よろしくお願いします。

○委員 いつもは上郷の公民館で、「親子応援食堂おあがりて」という子育てをされる方を中心としたこども食堂を運営しています。

多くのお母さんと小さなお子さんたちが来ていただいているんですが、感じていることとして、子育てをしている側として、いろんな人の意見を聞く中で、こどもの遊びというところが大きく変わってきていて、大きな問題としてはやっぱり周りの理解が時代とともに変わってきているなということを感じています。普通のお母さんたちが求めている遊び場というのと、私達が考えている遊び場というのは違うんじゃないかなというふうに思っていますので、いろんな方がいろんな立場でいろんな意見を出してくれる中で、本当にこどもたちにとってだけじゃなくて、大人にとっても必要な遊び場というのを考えていけたらいいなというふうに考えています。

先ほどの講演は興味があって、あっという間の一時間だったんですが、そこからすごく多くの学びを得られましたので、また自分の頭の中でも考えをまとめて、この会議に持っていきたいなと思います。よろしくお願いします。

○委員 私は7歳と4歳と今2ヶ月のこどもの保護者として参加させていただいています。また仕事では保育園をはじめ、介護施設やクリニック、酒屋さんなどの事業の運営にも携わっております。

そういった中で地域が抱える人口減少などの課題はすごく感じていて、私達のグループでも、この町に住んでよかったと思えるようなことを重視して活動を続けています。この新しい施設も、やっぱりこのまちで、ここで子育てしてよかったと思えるような、こどもたちもそうだし、親たちもそういった繋がりを持って明るくここで生活していけるような施設になったらいいなと思っています。

また、講演を聞いて、「非認知能力を伸ばすための遊びになってはいけない」というこの一文が私もすごく心に響きまして、今保育園などをやる中で認知能力が重要だということに、ちょっとそういう部分もあるなということを学ばせていただきました。

○委員 皆さんこんにちは。飯田技術専門校から参りました。

まず、講演を聞いてなんですが、子を持つ親として、こどもへの対応がなんというか雑な部分があったなと、ちょっと考えさせられるところがありました。

施設に対して大切にしたいところですが、こどもも親も楽しめるというのはもちろん、

その場が癒しの場であったりとか、非日常感なんかも味わえたらいいなと思います。よろしくお願いします。

○委員 皆さん、こんにちは。松尾第3児童クラブから参りました。

普段私達はこどもを相手に放課後の生活を一緒に過ごしていますが、先ほどの中山先生のお話は本当に直結するお話でとても参考になりました。ありがとうございました。

やっぱりこどもと毎日接する中で、例えば一人でぬりえやお絵かきで遊べる子、他にはやっぱり体を動かしてドッジボールといいますか、私のクラブではドッジビーがとても人気で大人気なんですけど、そういう方で遊びたい子、いろいろな子がいて、普段、声かけをしながらみんなで集まって遊べるよう、楽しいその時間を過ごしてもらえればなというふうに考えて過ごしております。よろしくお願いします。

○委員 こんにちは。よろしくお願いします。今日は園長と一緒に来たんですけど、園長は園の会議の方で先に戻りました。今日は私一人になります。

私自身、橋北地区に生まれたときから住んでおりまして、今も実家に旦那と一緒に住んでいます。年中と年長の年子の2人を育てています。

中山先生の講演で、本当に今、私自身もそこで子育てでぶつかっているところなんですけども、なんだかんだ家事・育児で不満がある旦那ですけど、遊ぶのが上手な旦那とか、何とか仕事の知識を生かして遊びを提供したくなってしまう私。そして、タブレットを渡して静かに過ごせという私の実の父。そんな難しい環境といいますか中で子育てをしているんですけども、遊ぶ姿を引き出せるような関わりを今後していきたいなと強く感じました。

私は橋北で育っていますので、浜井場小・東中・風越高校を出ました。現在の若者の皆さんはすごいしっかりしていてちょっとびっくりしてしまったんですけど、夏になると市民プールに行ける季節になるので、夏になるのがすごく楽しみだったなという記憶があって、私の幼少期の心に刻まれている大切な思い出です。

これから育っていく子どもたちの心に残る素敵な遊び場ができることが本当に楽しみで、今回受けさせていただいたので、子を育てる親としても意見を出して、皆さんと意見を交換できればいいなと思っております。どうかよろしくお願いいたします。

○委員 こんにちは。飯田市私立保育連盟高松保育園に所属しております。私自身も4歳の男の子の息子がおります。

普段、子育てする中でいろいろ悩みは尽きないんですけど、先ほどコンビニに一緒に行って、ちょっと一喝してきたところなんですけど、こどもってわがままはすごくわがままなんですけど、でもやっぱり一緒にいると楽しいし、得られるものも多いし、仕事をしている中でも、やっぱり一緒に遊んでいるだけで、すごく自分が成長させられているなと思

う部分がたくさんあるので、遊びってなんだろう、先生の講演をお聞きした中でも「遊びとは何か」というところがあったんですけど、遊びって何だろうって普段仕事している中でも考えているんですけど、やっぱりまだ答えは見つかっていないです。

でもやっぱり、こちらが提供するものだけが遊びじゃないなと思っていますし、こどもの思いを汲み取りながら、こどもの思いに寄り添っていけたらいいなと、日々保育をさせていただいています。

この会議では、現場のこどもの声、また保護者のリアルな声もお届けしながら意見させていただければと思います。私の子育ての悩みにも、ちょっと皆さんに寄り添っていただけたらなと思っております。よろしくお願いいたします。

○委員 皆さんこんにちは。飯田短期大学幼児教育学科で講師をしています。

高校生の皆さんのしっかりした意見を聞いて、飯田の未来が明るいなと思って、すごく嬉しくなりました。

中山先生のお話をお聞きして、学生のことを思い出したんですけども、いざこざの場面でブランコに乗っているけど変わってくれないという場面の動画を見たときに、1年生にその場でどうするかと問いかけたところ、「10 数えたら交代しよう」とか「次の人が待っているよと言って提案する」というふうに1年生が答えることが多かったんです。だけでも実習に行ってきた2年生にどうするかと問うと、「一度止めて、話し合う」というふうに言った学生が多かったんです。中山先生のお話もお聞きして、いざこざの場面とかそういうところで保育園で学んでいるんだということを学生が知って、自分たちはそういう援助をしていこうという学びに変わってきているんだなということを、先生の話聞いて思ひまして、この施設を作るというふうに考えた場合、外的な建物の環境も大事なんですけれども、人的な環境、どういう人がどういうふうな形で援助して寄り添って遊びを盛り上げていくかという部分も、すごく大切だなというふうに思いました。私も一緒に交わっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○委員 飯田市の公民館長会、20 地区の館長会から選ばれて、橋南公民館の館長を昨年からやらせていただいております。

なんで橋南公民館長が選ばれたかなというと、丘の上の5地区がありまして、その中にあるからかなということと、りんご庁舎の3階に公民館がございます。2階にこども課さんがいるので、近いからかなということです。

先生の講演を聞いて、体も心も遊びによって鍛えられるというか、そんなお話があったと思います。考えてみると、こどもだけじゃなくて、私は70を超えましたが毎日遊んでいるなというふうに思います。公民館に行って遊んで、また家でも下手な字を書いて遊んでいますけども、学びと遊び、心と体とか分けては考えられなくて、一緒に文化なのかなということを感じました。

それと、館長会を代表していますので、今回の委員として申し上げたいことはいっぱいあって、一分ではちょっとと言えないと思うんですけど、一つ、飯田市の公民館の跡地ということになると思いますけれども、今現在、ご存知かと思いますが飯田市の公民館は駅前の「ムトスぷらざ」というところにありますけれども、あそこのステージといいますか広場といいますか、あのスペースを見ていただければ、公民館で必要としている、あるいは今の問題点というのを見ていただけるかなというのがあります。

それからもう一つ、今年たまたま丘の上5地区の芸能祭というのが2年に1回行われまして、前は羽場公民館でやったんですけども、各種の問題がありまして、一つはステージに上り下りする段差がある、それから駐車場が若干限りがあるということで、今年は丸山小学校の体育館をお借りすることになりました。そこにまつわっていろんな問題点もありまして、そういったことが今回の施設を作ることで、飯田市の公民館もよくなったな、あるいは丘の上5地区の公民館事業もよくなったなど。あわせて追手町小学校の放課後こども教室のスタッフを15年ほど今もやらせていただいていますけれども、こどもたちが使う設備といいますか、今人形劇は追手町小の講堂でやっているんですね。来年度ぐらいに冷房が入るのかなということらしいんですけども、冷房のないところで人形劇をやったりしていますので、そういったところも含めて今回のことは期待しておりますし、また帰りましたら館長会で報告するようにということで厳しく言われております。報告して、20地区の館長さんの意見を聞きながら進めていけたらと思っています。

またお礼として申し上げたいのは、館長になって初めて知ったんですが、公民館制度ってたぶん日本独自の制度ですし、長野県では非常に活発になっていますし、とりわけ飯田市においては、公民館主事という正規職員を置いてもらっているということは他にないことだと思います。市長のご尽力をいただいていますので、こういう施設の検討が進むことで、ぜひ英断を持って進めていただきたく、よろしくお願いします。

○委員 名簿にありますように飯田市のPTA連合会の方から参っております。

PTA連合会の小学校のPTA会長をやっております。ということは、小学校6年生と4年生のこどもがいるということで、親としてはまだ12歳の目線で、この施設の構想の方に携わってまいりたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いします。

○委員 こんにちは。明治大学大学院の修士2年で、学部4年のときに佐々木先生の研究室に配属されてから、今年で飯田市に関わらせていただいて3年目になります。主に丘の上の中心市街地の将来像の策定であったり、りんご並木の検討委員会に参加させていただいたりしております。今日の朝、東京から来たんですけど、明日も飯田市に滞在して、明日は橋南地区の空き家の改修に取り組む予定です。

先生のお話を聞いて、遊びというのは自発的に生まれるものだということにすごく共感しました。空間を勉強しているものとして、例えばボールプールを作るみたいな決められ

た場所を作るというよりも、自発的な遊びが生み出されるような空間ってどういうものなのかなということを皆さんと一緒に考えていきたいなと思っています。よろしくお願いいたします。

○委員 こんにちは。隣で今ご紹介いただきました諏訪と同じように、明治大学の佐々木研究室から来ました。よろしくお願いします。

私は佐々木研究室に今年配属されて、今年から飯田市に関わらせていただいて、このような場に参加させていただくのも初めてにはなるんですが、佐々木先生が最初におっしゃっていただいた“Have fun with the city!”という研究室のキャッチフレーズを掲げて、こういった機会を楽しんでできたらなというふうに思っています。

また中山さんのお話を聞いて、研究室で今やっていることというのが、広い意味で言えば遊びだなというふうに思いました。飯田市に関わっていらっしゃる方々の前でちょっと「飯田市で遊んでいる」と言ったら少し聞こえが悪いかもしれないんですが、僕たちも飯田市でやりたいことをたくさんやらせていただいて、その中でいろんなことを学ばせていただいて、その学んだことをまた今後、自分がやりたいことに繋げていけるというすごくいい環境で今学ばせていただいております。この会議では、楽しむということをまず第一に考えて、自分の意見をお話できたらなと思っております。よろしくお願いいたします。

○委員 はい、皆さんこんにちは。

普段は感環自然村というこどもたちのサポートの団体と、あとは天竜峡の方で「ご湯づくり」という温泉施設の運営もさせていただいています。それ以外に通訳の仕事もしているんですが、最近その通訳の関係で、仕事仲間のメジャーリーグの選手とお話をする機会があって、そのときにちょうど先ほどの中山さんのお話のようなことを彼が言っていました。どういうことかという、彼はプエルトリコ出身なんですけど、小さい頃から野球が好きで、やりたいことなので遊んでいた、それが仕事になって、だから今現在もその仕事は遊びの延長線なんだよという話をちょうどしてしまして、なので今回皆さんと一緒させていただくこの施設も、こどもたちにとって、そんな遊びに出会えるような場所になっていったら嬉しいなというふうに思っています。

私の思いとしてもう一つは、「駄目」と「禁止」が多い場所よりも、「やってもいいよ」ということをなるべく増やした中で、我々がこういう場所がいいなと思っている場所に近づいていけるような、そんな場作りのお手伝いができたら嬉しいというふうに考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

○部長 委員の皆様の貴重なメッセージ、思いをそれぞれお伝えいただきましてありがとうございました。それでは皆様のお話を受けて、学識委員の先生方からコメントをいただ

ければと思います。

○学識委員 はい、皆さんありがとうございました。本当に多種多様なお話を聞けてすごく楽しかったですし、これからどんどん面白い意見が出てきそうで、僕も楽しみだなと思っております。

おそらくなんですけれども、もし施設ができたとして、全員のやりたいことが 100%通ることってないと思うんです。どんなことでもそうだと思うんですけれども、ただ、できた後に皆さんが継続して関わっていくことで 100%にしていくというか、これだけの皆さんが継続して関わっていけば、ものすごいことになるんじゃないかなということを感じましたので、5回の会議も楽しみですし、その後も楽しみだな、飯田市そのものがすごく楽しく、わくわくしてきている自分に気づきました。はい、ありがとうございます。

○部長 ありがとうございます。続いてお願いいたします。

○学識委員 私も皆さんのお話を伺って、大変多彩で多様な委員の方々こういった場で意見交換ができるということを大変楽しみにしております。

うちの学生が言っていたんですけれども、本当に私も飯田でいろんなことをやっていると、いや、もう遊びみたいなものですから、結構そう言わせていただいているんですね。それは“Have fun with the city!”とも関係しているんですけど、要は都市を楽しまないとそこに全然貢献できない。先ほどの中山さんのお話の中で、「居場所・遊び・貢献」というのがあったんですけど、本当にこどもさんの話だけではないということを先ほどお話ししたんですけど、研究室で大学生・大学院生を指導するときにも、要は彼らにまず居場所ができて、その居場所で彼らの場合は都市とか建築というものを楽しむ・遊ぶ、それが社会への貢献に繋がっていくというのが、私はまさに今、学生をできるだけ外に出して社会の中で通用する人材に育てたいと思ったときにやっている方法になっていますので、今日まさにここに参加している皆さんも、こういった場でまず居場所を得られたというふうに考えられるのがいいのかなというふうに思いまして、次の段階が遊びの段階ですね。ですから「楽しみたい」というご発言がたくさんあって素晴らしいなというふうに思ったんですけれども、ぜひ私を含めて皆さんがですね、一体どういう場所を作ればいいのか、どういう状況を作ればいいのかということを楽しみながら議論し、その議論の先に中山さんのおっしゃった社会への貢献があるというような委員会になっていけばいいなというふうに思いながら、皆さんのご挨拶を聞いていました。大変楽しみにしておりますので、よろしくお願いいたします。

○部長 ありがとうございます。予定にはありませんけど、市長から何かありませんか。

○市長 ありがとうございます。これから5回、皆さんとこういった議論をしていくのは本当に楽しみにしています。先ほどの中山先生のお話の中に、遊びの中には対立といいますか、フリクションがあったり、その中でお互いにいろんな話をしながら妥協したり交渉したりと、そういうことがもう遊びの一部ということなので、この会議も相当遊びのある会議になるんじゃないかと思います。

そういった中で、どういうものを作っていくかということもそうでしたけど、人的環境がとても大事になるんじゃないかと、本当にそうだと思います。場ができれば終わりじゃなくて、そこから先の人的環境というのは本当に最後の方のキーワードになってくかなというふうに思いますので、そういった意味で、今日から関わり始めていただいた皆さんには、これから先もずっと関わっていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。どうもありがとうございました。

6 事務連絡

○部長 ありがとうございます。それでは最後に、次回の予定とアンケートについてご案内をさせていただきたいと思います。

○課長 それでは事務連絡をさせていただきます。次回の第2回市民会議は、7月15日(水)18時から、本日と同じ鼎公民館で開催します。佐々木学識委員による「中心市街地で期待される役割・効果」というテーマでご講演をいただき、その後、意見交換を予定しております。改めて皆さんには開催通知を送らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本日アンケートをお配りしております。本日の感想や、今日どうしてもお話ができなかったことなど、思いを共有いただきたいと思います。この会議終了後に記入いただくか、最下段にメールアドレスが書いてありますので、そちらへ様式は自由でご意見・ご感想等をお寄せいただけるとありがたいと思いますので、どうぞご協力ください。

またお配りしたクリアファイルの中に交通手段記入用紙が入っている皆様は、本日の往復の交通手段についてご記入をお願いし、記入いただいてお帰りの際に出入口のかごの中へお入れください。以上です。

7 閉会

○部長 以上をもちまして、第1回思いきり遊ぶ親子交流施設基本構想検討市民会議を閉会といたします。本日は長時間にわたり誠にありがとうございました。皆様どうぞお氣をつけてお帰りください。お疲れ様でした。ありがとうございました。